



アルインコの製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機は免許、資格不要の特定小電力無線機器です。日本国内なら誰でも用途を問わず、お使いいただけます。使用方法のほか安全上の注意やアフターサービスについても記載していますので、この取扱説明書は必ず最後までお読みのうえ、保証書など付属書類とあわせて保管してください。また本機の機能の設定をされる管理者の方は弊社HPの詳細取扱説明書もあわせてお読みください。上の二次元コードからアクセスできます。

This product is intended for use only in Japan.

ALINCO	アルインコ株式会社	電子事業部	
〒541-0043	大阪市中央区高麗橋4丁目4番9号	淀屋橋ダイビル 13F	TEL.06-7636-2361
無線・電源 機器のアフターサービスに関するお問い合わせは			
お買い上げの販売店またはフリーダイヤル ☎ 0120-464-007			
全国どこからでも無料でお客様のご相談窓口につながります。			
受付時間：月曜 ～ 金曜 AM10 - 12 / PM 1 - 5 (土日祝日と休業日を除く)			
Eメール：https://www.alinco.co.jp/>事業・製品>通信技術>お問い合わせ			
Copyright Alinco,Inc. Printed in China.			

安全上のご注意

◎ 本機を正しく安全にお使いいただくため、「安全上のご注意」をご使用前にお読みください。使用者や周囲の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、次の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が傷害を負う、または物的損害の発生が想定される内容」を示しています。

＊ 重傷とは、けが、やけど、感電、骨折などの傷害で入院や長期通院をしたり、後遺症が残ったりするものを指します。
＊ 傷害とは、治療に入院や長期通院の必要がないやけど、けが、感電などを指します。
＊ 物的損害とは、家屋、財産、家畜及びペットなどにかかわる拡大損害を指します。

免責事項について

下記について法令上の賠償責任が認められた場合を除き、弊社は一切責任を負いません。

- 天災、人災、弊社の責任以外の火災、使用者の違法、故意、過失、取扱説明書の記載を守らないことを含む誤用、その他異常な条件下での使用により生じた事故と損害
- 本機の故障、誤動作、不具合、または停電などの外部要因にて生じる付随的な損害、不利益(通信できなかったことで生じた損失や事業の中断など)
- 本機の保証点検・修理を受ける際に発生する取外し、取付け費用、弊社が関与していない接続機器やソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害
- 故障や修理のために喪失した個別の設定内容やチャンネルのデータ、表面に施された装飾やカスタマイズ用に使われた製品(ラベル類、圧着端子、ゴム足…)

■ **共通(本機/内蔵バッテリー/別売充電器/別売ACアダプター)**

⚠危険

◎ **次の事項を守らないと火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。**

- 指定以外の機器を充電しないでください。
- 指定以外の充電器を使用しないでください。
- 指定以外のACアダプターを接続しないでください。
- 引火性ガスが発生する場所では使用しないでください。

爆発、火災、感電、故障の原因になります。本機は防爆仕様ではありません。
◎ 雷が鳴り出したら、屋外での使用時は直ちに屋内、車内など安全な場所に避難、充電器をご使用の場合は**ACアダプターをACコンセントから抜いてください。**
火災、感電、故障の原因となります。

◎ 直接日光が当たる場所、空調機や火の近くなど、温度が高くなる場所には絶対に置かないでください。

破裂、火災、故障、やけどの原因となります。真冬でも閉め切った車内や、窓際では日光が当たると、本機表面は内蔵バッテリーの破裂につながる温度まで上昇します。エアコンの暖房程度でも連続して当たると高温になります。

⚠警告

- 分解、改造しないでください。火災、感電、故障の原因になります。分解しないと交換できない部品は販売できません。
- 万一、発煙、異臭、異音などの異常がある場合は、使用しないでください。継続してお使いになると、火災、感電、故障の原因になります。ACアダプターをご使用の場合はACアダプターをACコンセントから抜き、煙が出なくなったことを確認してから、お買い上げの販売店、または弊社サービスセンターにご連絡ください。
- 小さいお子様やベットの手が届かない場所で使用、保管してください。感電やけがの原因になります。
- 電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。電源コードが破損し、火災、感電、やけど、けがの原因になります。

⚠注意

- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりして、火災、けが、故障の原因となることがあります。
- 清掃するときは、洗剤や有機溶剤（ベンジン、シンナーなど）を絶対に使用しないでください。柔らかい綺麗な布で乾拭きをしてください。ケースが損傷したり文字が変質したり、塗装がはがれたりする恐れがあります。また、機器内部に洗剤などが浸透し故障の原因になることがあります。

■ **本機**

⚠警告

- 医療や介護関連、または空港、鉄道、港湾、放送局、中継局など電波を使用する施設では各施設管理者に事前に問い合わせ、承認を得てください。電波障害による機器の誤動作が重大な事故や妨害の原因となります。
- 付属品および、弊社指定のオプション品以外を使用しないでください。故障の原因になることがあります。
- 大きな音量で長時間使用しないでください。大きな音を連続して聞くと、耳に障害を与える原因となります。
- 本機を落としたり、壁に当てたりしないでください。無理な力が加わり破損し発火、発熱、けがの原因となります。
- 本機の定格温度を必ず守ってご使用ください。定格外の温度範囲などで使用した場合、火災、発熱、故障の原因になります。
- ズボンなどのポケットに入れたまま椅子などに座らないでください。無理な力が加わり内蔵バッテリーが破損すると事故、けが、故障の原因となります。

●

- 本機の充電端子に半田付けをしたり、端子間を金属類で接続しないでください。火災、発熱、感電、けが、故障の原因となります。
- 運転中に**本機を手に持って操作しないでください。**運転中の携帯電話使用と同様に罰せられます。

■ 別売充電器

⚠警告

- 次の事項を守らないと、火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。
 - 充電器に水を入れたり、ぬらしたりしないでください。また水にぬれたときは使用しないでください。
 - ぬれた手で電源プラグや機器に絶対に触れないでください。
 - 充電端子接点部に金属類を差し込まないでください。

⚠注意

- 次の事項を守らないと、火災、液漏れ、発熱、感電、故障の原因になります。
 - 0℃～+40℃以外の環境で使用しないでください。
 - 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所で使用しないでください。
 - 充電後や充電しないときは、ACアダプターを抜いてください。
 - 指定以外の電圧で使用しないでください。

■ 別売ACアダプター

⚠警告

- ぬれた手で電源プラグに絶対に触れないでください。感電の原因になります。
- ACアダプターや接続ケーブルにキズ、芯線の露出、断線などがある場合、またはACコンセントの差し込みがゆるい場合は使用しないでください。火災、感電、故障、データの消失、破損の原因となります。
- コード類を加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。また、コード類の上には重いものを載せないでください。火災、感電、故障の原因になります。
- ACアダプターを抜き差しするときは、電源コードを引っ張らないでください。火災、感電、やけどの原因となります。
- 指定以外の機器にACアダプターを接続しないでください。火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。

⚠注意

- 次の事項を守らないと、火災、液漏れ、発熱、感電、故障の原因になります。
 - 0℃～+40℃以外の環境で使用しないでください。
 - 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所で使用しないでください。
 - 接続機器を使用しない場合、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

- 指定以外の電圧で使用しないでください。
- ACアダプターをタコ足配線状態で接続して使用しないでください。

■ 内蔵バッテリー

⚠警告

- 指定の充電時間を経過しても充電を完了しないときは、直ちに充電を中止してください。充電をつづけると、発煙や発火を起こす危険性があります。
- コンクリートなどの固い床に落としたり、強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。外観上、ひび割れや破損がない場合でも、内部で破損している場合があり、その状態で使用をつけると、破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。
- 購入時に比べ運用時間が極端に短くなったときや、使用中や充電中に、いつもより発熱するなど異常と感じたときは、使用を中止してください。変形、破裂、発熱、発火の原因となります。内蔵バッテリーの交換をご依頼ください。
- 満充電になった直後に再充電をしないでください。繰り返し行うと過充電となり、内蔵バッテリーの破裂、発熱、劣化の原因となります。
- 内蔵バッテリーは使用・保存状態に関わらず数年で劣化する性質を持っており、特に長期使用は発熱、発火の危険が高くなります。3年を目安に、長くても5年以内に交換をご依頼ください。

⚠注意

- 次の注意事項を守らないと、破裂、発熱、サビ、性能や寿命の低下の原因になることがあります。
 - 火中に投入したり、加熱したりしないでください。
 - 水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。
 - 改造、分解をしないでください。
 - 落下等の強い衝撃を与えないでください。
 - 端子接点部をショートさせないでください。
 - 本機を使用しないときは、必ず電源を切ってください。

アフターサービスについて

◎ 保証と保証書
修理やメンテナンスなど、保証の詳細は販売店とお客様間の契約が優先されますのでご購入時によくご確認ください。弊社の製品保証の内容は弊社発行の保証書に記載されています。保証書には購入店名、購入日の記入（または専用ステッカー貼付けなど）と、記載の製造番号に間違いがないかをお確かめの上、本書と一緒に大切に保管してください。記載がないときは販売店発行のレシート、納品書など購入店と購入日が証明できる書類を一緒に保存してください。購入店と購入日が証明できない場合は製品保証が無効となりますのでご注意ください。

●

◎ 保証期間が過ぎたら
お買い上げいただいた販売店または弊社サービス窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有償で修理いたします。アフターサービスや製品に関するよくあるご質問は「アルインコ 電子FAQ」をキーワードにネット検索してください。ご不明な点がありましたら、お買い上げいただいた販売店または弊社サービス窓口へご相談ください。

◎ 製造終了製品に対する保守年限に関して
弊社では製造終了後も下記の期間、製品をお使い頂けるように最低限必要な補修用部品を常備しています。ただし、不測・不可抗力の事態により在庫部品に異常が発生したような場合はアフターサービスをご提供できなくなることもありますので、あらかじめご了承ください。

補修部品の保有期間は、生産終了後5年です。

- 注意事項
 - 改造、分解されたり銘板やラベル類が剥がされた製品は、修理をお断りすることがあります。
 - 修理見積や保険用の証明書の発行は、一部有償です。
 - 本機には明確に定められた製品寿命はありません。
 - 樹脂成型時に細いラインが入ることがありますが、異常ではありません。
 - 印字について美観上の問題が無い範囲でわずかなムラがあります。
 - 使用条件によって端子部が変色することがありますが、異常ではありません。
 - 静電気が溜まりやすい場所や服装で別売のイヤホンを着装するとき、耳に静電気ショックを感じる場合があります。ドアノブなどに触れて感じることもあるショックと同じで、漏電のような異常ではありません。
- 付属品、および弊社指定のオプション品以外のアクセサリーを接続して使用すると故障や動作不良の原因となることがあります。他社製品をお使いになっている不具合は保証期間に関わらず製品保証の対象外です。
- 本機を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用しないでください。事前の個別契約がない限り、誤作動、不具合や損害が生じても一切の責任は負いかねます。
- 製品の保証の詳細は同梱の保証書に記載されています。別売のアクセサリーと一緒に求めなくても、保証書が同梱されていないアクセサリーは製品保証の対象に含まれません。

充電式電池のリサイクル



- 本機は充電式電池使用機器です。内蔵電池の交換は販売店にご相談いただくか、本書の「アフターサービスについて」をご参照のうえ弊社サービスセンターにご相談ください。
- 廃棄の際はお住まいの地域の「充電池内蔵小型家電」の廃棄処理ルールに従ってください。

電磁ノイズ

インバーター回路を内蔵している電子機器およびハイブリッドカー、電気自動車の車内や周辺では電磁ノイズの影響を受けて、正常に動作しないことがあります。

◎インバーターを搭載する代表的な機器

- LED照明機器
- 電磁調理器
- 給湯器
- 自動車の電子機器

- 太陽光発電装置

電波法

◎ 本機は電波法に基づいて、技術基準適合証明（工事設計認証）を受けた製品で、右記の「技適マーク」が印字されています。分解しないでください。


- 本機に貼付されたラベル類は重要です。次のことにご注意ください。
 - 機種名、数字や記号が書かれたラベル類は一切絶対に剥がしたり、他のシールなどで隠したり、貼り替えたりしないでください。技術適合の基準から外れ、違法機器とみなされることがあります。
 - ラベル類が隠れるように他のシールやステッカーが貼り付けられていたら、修理の際に弊社サービスセンターで破棄させていただきます。ラベル類の印字が薄れてきた場合はお買い上げいただいた販売店か弊社サービスセンターにご相談ください。
 - ラベル類が意図的に手を加えられていると判断した場合、修理をお断りすることがございます。不法無線局開設の補助に該当するためですのでご了承ください。

◎ 他人の通信を妨害したり、知りえた内容を通信者の許可なく第三者に伝えたり、自身で利用したり、メディアに公用したりすると罰せられます。

◎ 使用できるのは、日本国内に限られています。
◎ 心臓ペースメーカーを使用している人の近くで、本機を使用しないでください。電磁妨害により機器が誤作動すると、人命にかかわります。

使用上のご注意

■ **ご使用環境**

高温、多湿、直射日光が当たり続けるところは避けてご使用ください。本機はIP66・67相当の防水・防塵性能ですが、本機に弊社製純正オプションのイヤホン/イヤホンマイクが接続されていないとその性能を保証できません。イヤホン/イヤホンマイクはしっかりと奥まで接続してください。弊社では防水・防塵性について製品と同じ保証期間です。ご了承ください。

■ **分解しないで**

特定小電力トランシーバーの改造、変更は法律で禁止されています。分解したり内部を開けたりすることは絶対にしないでください。

●

■ **使用禁止場所**

本機は微弱電波の特定小電力無線装置ですが、無線機器の使用が制限される場所では事前に管理者の許可を得てください。
例：航空機内、空港敷地内、公共交通機関内、医療・高齢者施設など

本機は日本国内専用モデルです。海外では使用できません。
This product is intended for use only in Japan.

■ **通信距離**

- 通話できる距離は周囲の状況や取付け方によって大きく異なります。
 - 河川敷など障害物が無い平地、見通しのよい道：400m程度
 - 市街地や住宅街など障害物が多い所：300m程度
 - 店舗などの建屋内：100m程度

●

- 注意
 - 建屋内の縦階層間の通話はフロアが障害物になるため、直線では数十メートルの近距離であっても通信できないことがあります。このような場合では中継器を設置することで通話エリアを広げることができます。
 - 人体を含む障害物やアンテナの向き、歩行など移動による影響を受けると通話距離は半分程度まで短くなる場合があります。
 - トンネルのような閉鎖空間ではUHF電波伝搬の特性により近距離でも通話できないことがあります。

特定小電力の通信制限について

特定小電力トランシーバーの通信に関する制限事項について説明します。

3分制限(3分以上は連続で送信できません)……………
10秒前に警告音が鳴ります。通信時間が合計3分になると自動的に送信は停止します。中継通話の場合も連続した中継動作が3分を超えると自動的に送信が停止します。

● **注意**
3分の通信時間制限により自動的に通信が停止したあとは、約2秒間たたないと送信できません。

キャリアセンス(受信中は送信できません)……………
一定の強さ以上の信号を受信しているときはPTTキーを押しても送信できません。受信中にPTTキーを押すとアラーム音が鳴り、送信できないことをお知らせします。

● **注意**
セットモード「ガイドンス音量」をOFFに設定している場合、アラーム音は鳴りません。

付属品の取付け方

付属品をご確認ください。

□クリップ：1個(本体装着済み)

□簡易取扱説明書(本書)：1枚

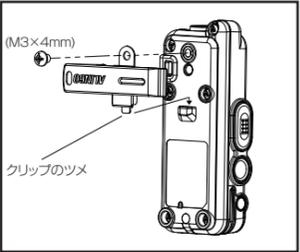
□保証書

注意 保証書にご購入の日付が記載されていないときは領収書やレシートを保証書といっしょに保管してください。ご購入日が証明できる書類がないと保証サービスは無効となりますのでご注意ください。

クリップの取外し/取付け……………

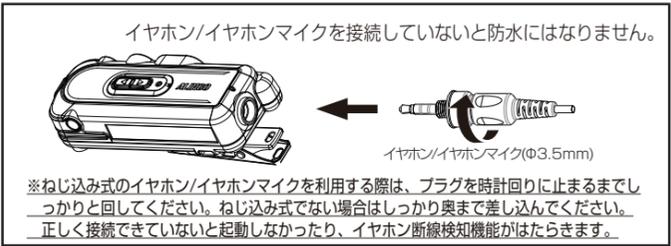
クリップは取付け済みです。取外し/取付けにはプラスドライバー(No.2)が必要です。取付けねじはクリップ部の上にあり、回転させると見えます。取り付けるときは図のようにクリップのツメを先に本体の穴に挿入してください。

注意 標準付属品以外のねじを使うと無線機本体が破損します。規格以外のねじはお使いにならないください。



重要：お使いになる前に

- 内蔵バッテリー**
内蔵リチウムポリマー電池は出荷時、十分に充電されていません。ご使用前に満充電してください。
- イヤホン/イヤホンマイク接続**
電源を入れる前に弊社製純正オプションのイヤホン/イヤホンマイクを正しく接続してください。接続していないと起動しません。



※ねじ込み式のイヤホン/イヤホンマイクを利用する際は、プラグを時計回りに止まるまでしっかりと回してください。ねじ込み式でない場合はしっかりと奥まで差し込んでください。正しく接続できていないと起動しなかったり、イヤホン断線検知機能がはたらきません。

注意 保管と補充充電について
本機はイヤホン/イヤホンマイクを外して乾燥した冷暗所で保管してください。また、本機に内蔵されているリチウムポリマー電池は適度に充電された状態で保管することが最適で、過充電や過放電状態は劣化を促進します。保管前に一度電源を入れてランプが青色点滅していたら、1時間程度補充充電してから保管してください。しばらく使用しない場合でも定期的に電源を入れて異常がないか点検し、充電量が減っていたら補充充電してください。

各部の名前とはたらき

●前面

内蔵アンテナ

PTT(送信)キー

話す間は押し続けます。離すと受信待ち受けに戻ります。

▲(UP)キー

音量を上げるときに押します。

▼(DOWN)キー

音量を下げるときに押します。

電源キー

約2秒間押して電源をオン/オフします。

●背面

オプション端子

別売のイヤホン/イヤホンマイクを接続します。汗やしびきでぬれたらこまめに乾拭きしてください。抜き挿しするときに水分が入ると故障します。

充電端子

別売の充電器を使用して、本機を充電できます。充電器に乗せる際に液体や汚れが付いたら取り除いてください。充電不良や故障の原因になります。

マイク

ここに向かって話します。※ラベルを貼るなどでマイク穴をふさがないようにご注意ください。

ランプ

赤色点灯：送信
緑色点灯：受信
青色点灯：受信待ち受け
黄色点滅：セットモード
緑赤色交互点滅：断線検知
青色違い点滅：電池残量少ない
青色早い点滅：電池残量非常に少ない

クリップ

取外し/取付け方は「付属品の取付け方」の項をお読みください。

USB TypeC 端子

別売のUSBケーブル(EDS-39)とUSBアダプター(EDC-328)を使用して本機を充電できます。またPCと接続し設定ソフトを使用することで、本機の詳細な設定をすることができます。

充電器(別売)

別売の充電器を使用して充電する方法を説明します。

●2口充電スタンド：EDC-345A(ACアダプター付属)

●10口充電スタンド：EDC-346(ACアダプター別売)

2口充電

①ACアダプターの丸プラグを充電器背面の電源端子に接続します。

②ACアダプターをAC100Vコンセントに接続します。

③充電が始まると本機のランプが赤色に点灯し、完了すると緑ランプが点灯します。

10口充電

①ACアダプターのソケットを充電器背面の電源プラグに「カチッ」と音がするまで接続します。

②ACアダプターをAC100Vコンセントに接続します。

③充電が始まると本機のランプが赤色に点灯し、完了すると緑ランプが点灯します。

●充電の目安

メモ 空のリチウムポリマー電池を満充電するのに要する時間は約4時間です。充電は周囲温度が0℃～+40℃の屋内でおこなってください。充電するときは本機の電源を切ってください。電源を入れたまま充電すると劣化を促進します。充電が済んだらスタンドから外します。本機および充電器の端子はときどき点検し、汚れを取り除いてください。汚れていると接触不良により正常に充電できないことがあります。清掃と点検をしても充電できないときは販売店か弊社サービスセンターにご相談ください。

●充電の注意

注意 EDC-345A/346を装着して充電している状態では、本機を使用することができません。充電中に本機を操作すると故障の原因になりますので、お止めください。

基本操作

●電源を入れる

電源キーを長押しします。ランプが青色点灯し設定内容を音声でガイドします。イヤホン/イヤホンマイクを接続していないと電源が入りません。電源を切るときも同じ操作で「ブブブ」音が鳴りランプが消灯します。

●イヤホン断線検知

イヤホン/イヤホンマイクを使用中、起動時にランプが赤緑交互点滅したら異常です。プラグを正しく挿入しているか確認し、直らないときは新品に交換してください。

●音量を調整する

ランプが青色点灯時に▲/▼キーを押すと音量調整できます。音量は0～30の31段階で調整できます。キーを押し続けると連続して切り替わります。そのときに鳴る「ピッ」音が音量の目安です。

●キー操作

「キーを押す」はしっかり押した後、すぐに離すことを指します。「キーを長押し」は約2秒間押し続けることを指します。

●電源を入れる

電源キーを長押しします。ランプが青色点灯し設定内容を音声でガイドします。イヤホン/イヤホンマイクを接続していないと電源が入りません。電源を切るときも同じ操作で「ブブブ」音が鳴りランプが消灯します。

●イヤホン断線検知

イヤホン/イヤホンマイクを使用中、起動時にランプが赤緑交互点滅したら異常です。プラグを正しく挿入しているか確認し、直らないときは新品に交換してください。

●音量を調整する

ランプが青色点灯時に▲/▼キーを押すと音量調整できます。音量は0～30の31段階で調整できます。キーを押し続けると連続して切り替わります。そのときに鳴る「ピッ」音が音量の目安です。

注意 音量を大きくし過ぎると聴力障害の原因となるおそれがあります。小さい音から徐々に上げて調整してください。

●送信する

PTTキーを押すと送信を開始します。話している間は押し続け、話し終わったら離して受信待ち受けに戻ります。送信中はランプが赤色点灯します。

注意 一定の強さ以上の信号を受信しているときはキャリアセンスがはたらき、「ブブブ」と警告音が鳴り送信できません。受信信号がなくなり、ランプが緑色から青色に変わったら送信できます。

●呼び出し音(コールトーン)

送信中に▲/▼キーを押すと呼出音(コールトーン)を鳴らして相手の注意をひくことができます。

●受信する

電波を受信するとランプが緑色点灯し、イヤホンから受信音が聞こえます。

●メモ

本機は受信待ち受け状態で、約5秒間キー操作がないとバッテリーセーブ機能が動作します。本機能動作時に信号を受信すると、通話の初めが途切れる場合がありますが、異常ではありません。

●減電池お知らせ

バッテリーが減るとランプが青色点滅してお知らせします。さらに減ると点滅周期が速くなり「充電してください」とガイドします。本機の電源を切り充電してください。

セットモード

本機の詳細な設定をするときは専用スマートフォンアプリ、もしくは専用PCソフトをご使用ください。本機の操作のみでの設定も可能ですが、液晶がなく設定状態が分かりづらいためです。本体操作のみで設定するのはチャンネルやグループトークなど基本的なものだけにして、詳細はスマートフォンやPCを使用すると簡単です。

●セットモードにする

- 電源を入れた状態で電源キーを素早く2回押すと、ランプが黄色点滅してセットモードに入り、現在の項目を音声でガイドします。
- セットモード中にPTTキーまたは電源キーを押すと、項目が昇順または降順で切り替わり、現在選択している項目と設定値を音声でガイドします。
- セットモード中に▲キーまたは▼キーを押すと、その項目の設定値が昇順または降順で切り替わり、設定した設定値を音声でガイドします。
- PTTキーを長押しする、または無操作1分が経過すると、「ピッ」音が鳴ってランプが青色点灯して設定を完了します。

●チャンネル設定

- 全ての無線機を同じチャンネルに合わせることで、通話できます。
- セットモードに入り「通話方式」を選択します。(初期設定：交互通話)
 - ▲/▼キーを押すと通話方式が音声でガイドされます。
 - セットモード「チャンネル1」を選択します。②で設定した通話方式によって使用できるチャンネルが変わります。
 - ▲/▼キーを押すと、選択したチャンネル番号が音声でガイドされます。
 - PTTキーを長押しする、または無操作1分が経過すると、「ピッ」音が鳴ってランプが青色点灯し、設定を完了します。

●グループトーク設定機能

グループトーク機能を設定すると、グループ番号が一致した場合にしか受信音が出ません。他のユーザーと混信しやすい場所で設定すると便利です。別機種や他社製の無線機と混用すると、トーン読み取り精度の違いからグループトーク通話ができなくなることがあります。そのときは問題が起きにくい02～37番の間で番号を変えてみてください。

- セットモードに入り「グループ1」を選択します。
- ▲/▼キーを押すと、選択したグループ番号が音声でガイドされます。
- PTTキーを長押しする、または無操作1分が経過すると、「ピッ」音が鳴ってランプが青色点灯し、設定を完了します。

●メモ

- 電源が入っているときに電源キーを1回押すと、現在の通話方式、チャンネル設定、グループ番号を確認できます。
- すでに運用しているグループに本機を導入する場合は、「ACSHモード」を使用するとチャンネルとグループ番号が自動で設定できます。詳しくは弊社HPの詳細取扱説明書をお読みください。

オプションを利用したセットモードの設定

本機のセットモードの設定は
①専用スマートフォンアプリ(以下スマホアプリ)
②専用PCソフト(以下PCソフト)
のいずれかを利用して行なうことをお勧めします。スマホアプリを利用する場合は、充電器(EDC-345A/346)と連携して設定します。PCソフトを利用する場合は、USBケーブル(EDS-39)と本機を直接つなぐ、またはUSBケーブルを充電器と接続して設定します。本機は液晶がないため設定状態が把握しにくく、操作が複雑になってしまうため、本体操作での設定はチャンネルやグループトークなど基本的なものだけにし、他のセットモードはスマホアプリもしくはPCソフトをご利用ください。詳しくは弊社HPの詳細取扱説明書をお読みください。

オールリセット

電源を切ります。PTTキー、▲キー、▼キーを全て押したまま電源を入れます。ランプが青色に点灯しても5秒ほど押し続けると、ランプが白色に点灯して、「初期化しました」と音声ガイドでお知らせします。拡張セットモードを含む全ての設定が初期化されます。パーティセットはありません。

故障とお考えになる前に

症状	原因	処置
電源が入らない	イヤホンを接続していない	イヤホンを接続してください
ランプが点かない	バッテリーが消耗している	充電してください
音が出ない	音量が低すぎる	適切な音量にしてください
受信できない	相手とチャンネルが違う	同じチャンネルにしてください
	相手とグループ番号が違う	同じグループ番号にしてください
送信できない	相手と距離が離れている	通信距離を目安に送信してください
	電波を受信している	電波がなくなってから送信してください
充電できない	3分通信制限を超過している	PTTキーを放して2秒経過後に送信してください
	端子が汚れている	端子の汚れをふき取ってください
	充電電池が劣化している	電池交換を依頼してください

※充電電池の残りが少ないとまれに誤作動することがあります。充電してください。

生産終了品に対する保守年限

生産終了後も5年間は補修用部品を在庫しています。不測の事態で欠品した場合には保守ができなくなることがありますのでご了承ください。

オプション一覧

EDC-345A	2口充電スタンド	(ACアダプター付属)
EDC-346	10口充電スタンド	
EDC-162	ACアダプター	(EDC-346用)
EDS-39	USBケーブル	
EDC-328	USBアダプター	(EDS-39用)
EME-66ZC	カナル型イヤホン	(ストレートプラグ)
EME-664C	カナル型イヤホン	(ねじ込みプラグ)
EME-68ZM	耳かけ型イヤホン	(ストレートプラグ)
EME-684M	耳かけ型イヤホン	(ねじ込みプラグ)
EME-32A	イヤホンマイク カナル型	(ケーブル長：約85cm/ねじ込みプラグ)
EME-48A	イヤホンマイク 耳かけ型	(ケーブル長：約85cm/ねじ込みプラグ)

イヤホンケーブル長は全て約50cmです。またEME-48A以外のイヤホンはいずれも断線しにくい業務仕様ツイストケーブルです。

挿し込むだけのストレートと、外れにくいねじ込みプラグがあります。いずれもIP66/67相当ですが、使用前にゆるみがないか必ず点検ください。接続不良による浸水や故障は保証対象外です。

●保証書

●簡易取扱説明書

●本体

定格		
送受信周波数	Lチャンネル	421.8125～421.9125MHz
		422.2000～422.3000MHz
	bチャンネル	440.2625～440.3625MHz
		421.5750～421.7875MHz
		422.0500～422.1750MHz
		440.0250～440.2375MHz

制御チャンネル	422.1875MHz、421.8000MHz、440.2500MHz
電波形式	F3E (FM)、F1D (FSK)
送信出力	10mW、1mW
受信感度	−14dBu (12dB SINAD)
音声出力	50mW以上 (8Ω負荷)
通信方式	単信、半複信、複信
定格電圧	DC3.7V (リチウムポリマー電池 620mAh)
消費電流	送信時：65mA (High) 55mA (Low) 受信定格出力時：72mA/バッテリーセーブ時：22mA
動作温度範囲	−10℃～+50℃ (充電：0℃～+40℃)
寸法 W×H×D	32.8×80.4×23.3mm (突起物除く)
質量	約51.3g (内蔵バッテリー、クリップ含む)
使用時間の目安	交互通話・中継通話：約20時間/連結子機通話：約12時間 同時通話：約4時間(連続送受信)/2波同時受信：約14時間

仕様、定格は予告なく変更する場合があります。本書の説明用イラストは実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。本書の内容を無断転載することは禁止されています。乱丁、落丁はお取り替えいたします。

●メンテナンス

本体とイヤホンは家電清掃用ブラシでほこりを落とし、清潔な乾いた布で乾拭きしてください。防水保証は製品と同じ1年です。特にイヤホンケーブルは汗などでぬれたら乾拭きしてください。水分侵入は基板を腐食して修理できなくなります。汚れたスポンジやゴムは衛生面からも定期的に新品に交換してください。